

# 「人間国宝 土屋順紀 紋紗—美濃を織る」

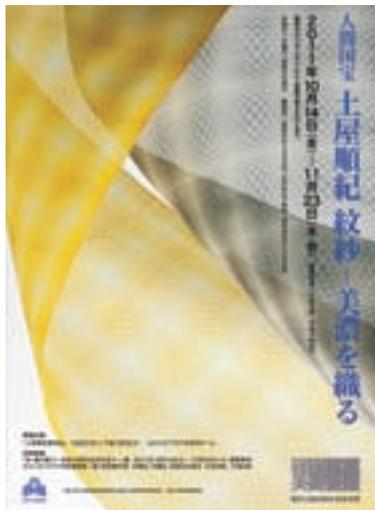
## 篠田桃紅美術空間からのお知らせ

10月14日(金)から「人間国宝 土屋順紀 紋紗—美濃を織る」展が始まります。土屋順紀さんは、「紋紗」により昨年関市で初めて国の重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。今回の認定を記念して、土屋順紀さんの作品世界をご紹介します。

土屋順紀さんは、関市に生まれ育ち、現在も地元で制作活動をする染織家です。京都の専門学校を卒業後、人間国宝・志村ふくみさんから植物染色の色の魅力を学び、1981年には独立し、関市に工房を構えました。さらに、羅と経織の人間国宝・北村武資さ

んにさまざまな織の技法を学び、植物染料を生かしながら、ぼかしの経絣と紋紗織を融合させた独自の織物を創作しつづけています。

郷土の自然環境を生かして表現活動を続ける土屋順紀さん。創作テーマには、生まれ育った関市の豊かな自然を表現しています。本展では、第43回日本伝統工芸展で日本工芸会総裁賞を受賞した作品で、鮎の名所である長良川の流れを表現した《生絹着物「鮎の瀬」》、第53回日本伝統工芸展で文部科学大臣賞を受賞した作品《紋紗着物「月下溪韻」》など、代表的な作品とともに、新作を展示します。



第五十三回日本伝統工芸展 文部科学大臣賞  
紋紗着物「月下溪韻」 土屋順紀

- 会期：10月14日(金)～11月23日(水) 祝
- ※期間中の11月1日(火)から一部展示替えを行います。
- 入館料：高校生以上300円、中学生以下無料
- 休館日：月曜日(休日を除く)、休日の翌日(土・日・休日を除く)
- 開館時間：午前9時～午後4時30分
- 関連企画：「土屋順紀講演会」10月22日(土)午後1時30分～ わかくさ・プラザ「学習情報館・多目的ホール」
- ◆ 同時開催：「染・織の魅力」紋紗の制作技法を追う展 10月14日(金)～11月23日(水・祝) 午前9時～午後5時 わかくさ・プラザ「学習情報館1階・特別陳列室」【観覧無料】
- 照会先：篠田桃紅美術空間(市役所7階) ☎ 7756

前売券発売中  
○価格  
○販売期間  
○販売窓口

大人(高校生以上) 前売り250円  
10月13日(木)まで  
篠田桃紅美術空間、関市文化会館、文化財保護センター(武芸川事務所内)、岐阜現代美術館